

2011年(平成23年)

11月29日

火曜日

天氣 6 9 12 15 18 21(時)

東京	■■■■■	10	16
横浜	■■■■■	30	15
千葉	■■■■■	60	15
さいたま	■■■■■	10	17
札幌	●●●●●	10	1
仙台	●●●●●	10	16
名古屋	■■■■■	0	12
大阪	●●●●●	0	20
福岡	●●●●●	0	21

朝日新聞東京本社

本日の編集長＝尾形俊三

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

全国で新検査法が広がれば、新生児の突然死や後遺症を減らせると期待される。ただ、異常が見つかれば、医師がきちんと病気の症状や治療法などを説明することが求められる。

内の病院で、長男に代謝異常症のひとつ、グルタル酸血症2型という障害が見つかりました。今後、どうなるか分かりません」とかし、医師からは「グルタル酸血症2型」という障害が見つかりました。今後、どうなるか分かりません」と説明されただけだった。自分でインターネットで調べると、死亡報告ばかりでとても不安になつた。

3カ月後、専門医の山口清次・島根大教授を受診。ようやく、栄養の制限などを指導され、安心した。いまは、食事にも注意しながら、元気に生活している。

代謝異常は脳症なら、症状は成長とともに日にぐぐくなるが、まれな病気で、医師が知らないことがある。

厚労省研究班は、患者の保護者が安心できるよう、手引書を作った。病気の種類、原因、有効な薬や食事など日常生活での注意点を解説している。相談先や専門者会の紹介も載せた。検査で異常がわかった家族に医療機関などから渡してもらつている。治療ができる医療機関を紹介する医師を地域ごとに決めるよう、学会などで呼びかけている。

日本産婦人科医会常務理事の平原史樹・横浜市立大教授は「検査できる病気が増えるほど、保護者が十分に相談できる態勢が必要。診断や病気の説明が丁寧に行われているか、点検していきたい」と話している。

# 防げます先天性代謝異常 赤ちゃん栄養を消化できない

生まれつき栄養を消化、吸収できず、命にもかかわる先天性代謝異常症のうち、主な16種類が一度に調べられる検査法が広がっている。朝日新聞の取材で都道府県と政令指定市の6割が導入済みか導入する意向だった。発症前に分かれば高い治療効果があり、厚生労働省研究班

**県・指定市6割  
新検査導入へ**

研究班の01年以降の検査で常が分かり、発症前から治療していた65人のうち、3人（5%）が死亡し、4人（6%）に達の遅れなど後遺症が出てた。一方で、発症して初めて気に気づき治療をした152人では、44人（29%）が死亡し、65人（43%）に後遺症があつた。

導入を検討するよう通知した。  
朝日新聞が11月下旬に都道府県と指定市に取材すると、札幌、大阪両市と岩手、神奈川、島根、鳥取の各県がすでに導入。東京都など15自治体が12年度中の導入を検討し、19自治体が時期は未定だが、導入する意向だった。

異常がみつかった。9千人に1人の割合だった。病気は重症だと突然死や心身の発達の遅れなど起こすが、消化できない特定の栄養を除いた特殊ミルクで

20種類以上の病気を一度に調べられる検査法「タンデムマスマニア法」の効果が確認できたため、全省は3月、自治体に、確実に見つ

## 検査後の説明必要 先天性代謝異常

